

政策経営課

政策経営係



職員紹介④

※内容は取材当時のものです。



副市長との打ち合わせ



情報システム係との定例打ち合わせ



とある1日のスケジュール



- 8:30 メールチェック、前日のくにPayの利用実績確認
- 9:30 決裁文書の確認
- 10:30 庁議
- 12:00 昼休憩
- 13:00 基幹系システムベンダーとの打ち合わせ
- 15:00 施策評価会議
- 17:00 メールチェック、決裁文書の確認
- 17:30 退庁

政策経営部 行政改革・情報政策担当
課長(13年目)

職種:一般事務
平成24年度入職

Q1.現在の仕事内容

行政改革・情報政策担当課長という名前のとおり、行政改革と情報政策に関する業務を所掌しています。具体的には、市の事業の評価、組織改正、定員管理、情報システム全般の管理、自治体DXの推進といった業務に加え、国立市独自のデジタル地域通貨「くにPay」の企画・運営も行っています。



Q2.職場の雰囲気

よく他の部署の職員から「政策経営課はいつも静かで話しかけにくい」と言われますが、決してそんなことはなく、熱い政策論議を交わしていることもあれば、昔話に花を咲かせていることもあります。最近はようやくチャットツールを導入したこともあり、画面越しに会話していることも多くなりましたが(笑)。

Q3.国立市に就職を決めた理由

元々は公務員志望というわけではなく、民間企業の就職活動を行っていました。当時の就活は今ほど売り手市場ではなかったこともあり、かなりの数受けましたがまったく箸にもかきませんでした。そこで、途中から地方公務員も選択肢に入れることにし、地元も含めいくつかの自治体を受験したところ、たまたまご縁があり拾っていただけた国立市にお世話になることにした、というのが正直なところです。

Q4.仕事のやりがい

私の好きな言葉の一つに「鶏口となるも牛後となるなかれ」があります。大きな集団で埋もれるよりは、小さな集団の中で存在感を示したほうがよい、というような意味ですが、国立市役所は良くも悪くも一つ一つの組織(係)が小さく、職員一人一人の守備範囲が大きくなりがちです。そのため、新人のうちから大きな仕事を任せてもらえることも多く、当然苦勞もありますがその分やりがいも大きいと思っています。

Q5.キャリアについて

都市振興部建設課(3か月)→都市整備部交通課(4年)→政策経営部政策経営課(財政係3年・政策経営係長4年)→政策経営部行政改革・情報政策担当課長(現職)(2年目)

初めて配属されたのは、現在の道路交通課で、自転車駐車場や街路灯、コミュニティバスの管理などの担当をしていました。次に、政策経営課に異動し、財政係では予算の編成や使用料・手数料の見直し、政策経営係では係長として特別定額給付金支給事務や市政全般の政策立案に携わり、それらを経て今のポストに就きました。ありがたいことに、若いうちから責任あるポストを任せていただいているのかなと思っています。

Q6.国立市の良いところ

まちとしての良さは、コンパクトな市域に文教都市として落ち着いたある街並みが形成されつつも、多摩川や城山といった自然を感じられる面白さがあるところでしょうか。市役所としての良さは、ドラマや映画の撮影にピッタリな昔ながらの本庁舎で、すぐに顔が見える位置で個性豊かなメンバーが働いていることだと思います。

Q7.受験者へのアドバイス

「公務員は安定している」とよく言われると思います。確かに、身分や給与は保障されている面もありますが、昨今はコロナ禍や物価高騰といった社会の変化のスピードがさらに高まり、我々も自らをアップデートしていかなければなりません。一方で、住民の福祉のために働くという使命は昔も今も変わりません。変わるべき部分と変えずに守るべき部分、この両面を意識してどんな国立市役所の職員になりたいのかを考えてみてください。